

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	岡本 麻由	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
生理学(Physiology)ではイキモノがどのようにして生きているのかを考える。この講義の目標は柔道整復師に必須の人体生理学の知識を習得する事である。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
生理学改訂第4版(南江堂)						
《授業外における学習方法》						
医療関係者は特にヒトの正常状態および病的状態を理解する必要がある。常に復習が必要である。						
《履修に当たっての留意点》						
生理学はヒトの身体の正常機能を理解する、重要な科目です。この理解は2年次以降の一般臨床や病理学等の科目においても必要となります。将来にわたり自分で勉強できるようなレベルまで教育する予定である。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	生理学に興味をもち、細胞内小器官の名称、働きについて説明できる。	教科書	教科書を読み配布プリント を使って復習する。	
		各コマに おける 授業予定	生理学とは①(A細胞の構造と機能)			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	ホメオスタシスについて理解する。	教科書	教科書を読み配布プリント を使って復習する。	
		各コマに おける 授業予定	生理学とは②(B組織・器官と生体の機能系 C生体の恒常性と統合機能)			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	体液のイオン組成について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリント を使って復習する。	
		各コマに おける 授業予定	生理学とは③(D体液の区分と組成)			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	筋肉の種類・構造、筋線維の種類を説明出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリント を使って復習する。	
		各コマに おける 授業予定	筋の生理①(A骨格筋)			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	筋収縮のしくみ、筋の張力、筋電図を理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリント を使って復習する。	
		各コマに おける 授業予定	筋の生理②(A骨格筋)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	平滑筋、心筋の特徴について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	筋の生理③(B心筋 C平滑筋)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経細胞の形態、活動電位、神経伝達物質について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	神経の生理①(A神経信号の伝達)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	神経の生理②(B神経系の構成 C脳の高次機能)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経系(特に自律神経系)について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	神経の生理③(D内臓機能の調節)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	伝導路について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	運動の生理①(A運動の調節)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動単位について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	運動の生理②(B運動神経と運動単位)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋紡錘、反射について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	運動の生理③(C脊髄による反射とその調節)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢反射について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	運動の生理④(D脳幹による運動調節)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳皮質の機能分化について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	運動の生理⑤(E高次運動機能)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚の種類、感覚器のしくみについて理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	感覚の生理①(A感覚の一般的な特性)		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	岡本 麻由	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
生理学(Physiology)ではイキモノがどのようにして生きているのかを考える。この講義の目標は柔道整復師に必須の人体生理学の知識を習得する事である。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
生理学改訂第4版(南江堂)						
《授業外における学習方法》						
医療関係者は特にヒトの正常状態および病的状態を理解する必要がある。常に復習が必要である。						
《履修に当たっての留意点》						
生理学はヒトの身体の正常機能を理解する、重要な科目です。この理解は2年次以降の一般臨床や病理学等の科目においても必要となります。将来にわたり自分で勉強できるようなレベルまで教育する予定である。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	特殊感覚器の構造と伝導路について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリント を使って復習する。	
		各コマに おける 授業予定	感覚の生理② (B特殊感覚)			
第 17 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	体性感覚・内臓感覚について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリント を使って復習する。	
		各コマに おける 授業予定	感覚の生理③ (C体性感覚 D内臓感覚)			
第 18 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	痛覚について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリント を使って復習する。	
		各コマに おける 授業予定	感覚の生理④ (E痛覚)			
第 19 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	内分泌、ホルモンの定義について説明出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリント を使って復習する。	
		各コマに おける 授業予定	内分泌① (A内分泌腺とホルモン)			
第 20 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	ホルモンの種類と作用について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリント を使って復習する。	
		各コマに おける 授業予定	内分泌② (Bそれぞれの内分泌腺とホルモンのはたらき)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	視床下部・下垂体ホルモンについて理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	内分泌③ (Bそれぞれの内分泌腺とホルモンのはたらき)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	甲状腺・副腎・腎臓・膵臓・精巣・卵巣から分泌されるホルモンについて理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	内分泌④ (Bそれぞれの内分泌腺とホルモンのはたらき)		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	各内分泌腺から分泌されるホルモンの名称と作用を説明できるようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	内分泌⑤ (Cホルモンによる内部環境の恒常性維持)		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	性分化、精子形成について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	生殖① (A性分化 B男性生殖器)		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	卵巣周期、妊娠と分娩について理解出来るようになる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	生殖② (C女性生殖器 D妊娠と分娩)		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	血漿・血球・血清をそれぞれ説明できる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	血液①(A血液の成分と組成)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	止血の機序を説明できる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	血液②(B止血)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液型の決定因子を理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	血液③(C血液型)		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫について理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	血液④(D免疫)		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	生理学用語を理解し説明できる。	教科書	試験内容を復習する
		各コマにおける授業予定	まとめ 前期試験		